

地域の安心を第一に考えた病院づくりを目指しています。



1. 地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い、専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

EVENT ひばり会

毎月第2・第4水曜日の午後2時から3時までの1時間、小中日出代先生をお迎えして、音楽療法による「歌」や「体操」をおこなっております。懐かしい歌に涙することもあれば、楽しい思い出を語りすることもしばしば。皆さんに楽しみにされている行事です。

外来にいられている患者さんやご家族、さらには地域の方もご自由に参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。



医療関係者の皆さまへ 「第10回日本PTEG研究学術集会」は7月23日(土)、札幌医科大学(臨床教育研究棟 1階講堂)におきまして開催することになりました。

地域医療連携室

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。
地域連携 / 他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。
医療相談 / 経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でのご相談でも構いません。

外来診療時間 [平日] 午前9時～午後6時
 [土曜] 午前9時～12時30分(整形外来は午前9時～12時です)
 ※日曜・祝日は休診いたします。

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	院長	院長	院長	院長	院長	交代制
	北川	平池	山本	平池	北川	
午後 13:00 ~ 18:00	山本	豊田	佐々木	豊田	佐々木	(整形外科)
	平池	山本	北川	北川	平池	
	豊田	佐々木	豊田	佐々木	山本	

4月1日より、当院で新しく診療を担当します。
豊田 宣彦 医師 外科・内科・消化器外科・消化器内科



医療法人社団 **土田病院**
 TSUCHIDA HOSPITAL
 札幌市1次・2次救急指定病院
TEL 011-531-7013
 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
<http://www.tsuchida.or.jp>

診療科目
 外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科
 内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数
 一般病室 / 35床(全室個室)、医療療養病床 / 99床



第18号 平成23年4月15日発行 / 発行元 医療法人社団 土田病院 / 編集 土田病院 広報委員会 / 次回発行平成23年7月15日

土田病院ニュース

18 2011年4月発行 みんなの輪と和を

輪



看護師長 佐々木 知子

雪深かった今年の冬もようやく終わり、札幌にも春の便りが聞かれています。先日の東北関東大震災において被災をされた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

さて、春は新入学や就職など“新しい生活”への旅立ちの季節です。ご入学やご就職のためにお引越しの準備をして、これから新たに始まる生活に胸を躍らせていることでしょうか。しかしこの時期は、環境の変化によるストレスで体調を崩しやすい時でもあります。風邪を引いたり、胃腸の調子が悪く吐き気がしたり、下痢をしたりなど、何となく体がだるくていつもの調子が出ないと感じることがあると思います。心と体はバラバラではありません。体調が悪いとやる気が出なかったり、落ち込んだり、ミスをしてしまいます。

そのような時は決して無理をせずに、受診をされることをお勧めします。早めに受診をすることで適切な治療を受けられることはもちろん、「症状に合った診療科」を紹介してもらうことも出来ます。また、転居をされた方は「かかりつけ病院」を探しておくことも大切です。

私どもは地域の皆さまの健やかな生活のお手伝いをしたいと思い、日々努力をしております。「何となく元気が出ない、、、」「何科にかかれば良いのかわからない、、、」そんな時はお気軽に当院の外来にお尋ねください。皆さまの明日の健康と幸せをお祈りしております。

創傷治療の新しい常識 ～消毒薬は不要？～

診療部長 佐々木 寿誉

【はじめに】

①傷は必ず消毒しなければならない、②傷は消毒しないと化膿する、③縫った傷は濡らしてはいけない、④かさぶたが出来たら傷は早く治る、⑤傷は乾かすと早く治る…これらはほんの10数年ほど前までは当たり前だった傷の治療に関する「常識」です。しかし近年、これらの常識が実は全て間違っていたことが判明し、傷に対する治療法も大きく変わりつつあります。今回はその新しい常識についていくつかご紹介します。

【消毒薬は魔法の薬？】

何故イソジンやヒビテンといった消毒薬が細菌を殺せるのか？それは消毒薬が細菌の細胞を破壊するからです。しかし消毒薬は魔法の薬ではないため、細菌の細胞のみを選んで破壊することはできず人間の細胞も同じように破壊してしまいます。しかも細胞壁の無い人間の細胞よりも細胞壁を有している細菌の細胞の方が圧倒的に丈夫であるため、実は消毒薬は「細菌よりも人間の細胞により大きなダメージを与えてしまう薬」なのです。人間の正常な皮膚にイソジンを塗っても一見大丈夫なのは、皮膚の表面が角質という死んだ細胞に覆われて守られているからであり、傷口の細胞はひとたまりもありません。消毒薬が傷口にしみて痛いというのは実際に細胞が障害を受けている証拠です。

そして消毒薬をどんなに皮膚に塗りこんでも毛孔の奥に潜む細菌までは殺すことができません。また表面を消毒しても約3時間後には毛孔から出てきた細菌が繁殖し元通りの細菌数になることが分かっています。つまり1日に1回や2回の消毒では皮膚の無菌状態を保つことは出来ず、全く意味がないということになります。

【傷に細菌がいる≠化膿】

人間の皮膚や腸には常に細菌(常在菌)が住んでおり、無菌にする必要などありません。ですから傷に細菌がいること自体は当たり前のことであり、それらが悪さをしない限りは何の問題にもなりません。悪さをしている状態とは“傷が炎症を起こしている状態”、つまり傷が「赤くなって」「腫れて」「熱をもって」「痛い」状態を指し、そうなって初めて“化膿”という、治療が必要な状態といえます。

【化膿の元凶は細菌？異物？】

傷が化膿するためには組織1gあたり10万個もの細菌が必要です。しかし組織に異物(泥や砂、木片やとげ、血の固まりや縫った絹糸など)が混ざっていると、組織1gあたりたった200個の細菌で化膿してしまうのです。このことから、化膿を防ぐためには“消毒して細菌を殺す”ことよりも、“傷のなかの汚れやゴミをきれいに洗い流す”方がよっぽど重要であるといえます。もしケガをした場合には水道水で十分なので(水道水は人間の皮膚よりよっぽどキレイです！)傷を徹底的に洗って異物を除去することが大切です。縫った傷の隙間から入る水や細菌は皮膚の常在菌の数に比べると微々たるものです。また縫った傷は通常約48時間で表面の皮が張るので、時にその後は傷をどんなに濡らして洗っても大丈夫です。傷の周りにこびりついた血や垢は逆に異物となるため、それらを除去する目的でも傷はどんどん洗った方が良いでしょう。

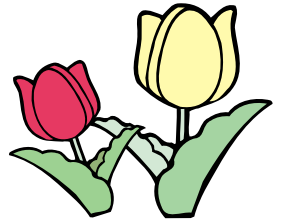
【かさぶたは治っている証拠？】

傷が治るためには傷の周りから新しい細胞が増殖して新しい皮膚を作りださなければいけません。そして細胞が増殖するためにはある程度の湿気が必要です。傷がジュクジュクするのは誰もが経験していると思いますが、じつはそのジュクジュクした液(浸出液)には①細胞の増殖に必要な物質が含まれており、②組織に適度な湿気を与えて細胞の増殖を助ける、という2つの重要な働きをしています。もし傷をわざと乾かしてしまうと、この液の働きが失われ傷の治りが遅くなるだけではなく、乾燥した組織がミイラ化してかさぶたとなり、そのかさぶたが異物になって化膿を引き起こす元凶になってしまうのです。かさぶたが出来てしまったらなるべく早く除去し、傷を適度な湿気を与える素材で覆ってあげる必要があります。傷を適切な湿気で保護する素材(創傷保護剤)には現在色々な種類があり(ポリウレタンフィルム、ポリウレタンフォーム、ハイドロコロイドなど)、浸出液の量や傷の深さによって適宜使い分ける必要があります。

【こういう傷は病院へ】

近年傷のジュクジュクをコントロールし適度な湿気を与える特殊な絆創膏が市販されるようになり(ジョンソンアンドジョンソン社のキズパワーパッドなど)、一般の方でもご自宅で傷の適切な処置が可能となりました。しかし以下のような傷は歩間違えると重症化する危険性が高いため、まずは病院で診てもらうことをお勧めします。

- ①入り口が狭くて深い傷(トゲを刺した傷、動物(特に猫)の咬み傷)
- ②皮下脂肪が見えるぐらいの深い傷
- ③水ぶくれが出来ているやけど
- ④なかなか血が止まらない傷
- ⑤泥などがついて汚い傷



【さいごに】

傷の治療の新しい常識は、①消毒しない、②良く洗って異物を残さない ③乾燥させない、④ジュクジュクした液(浸出液)を適度にコントロールする、の4点です。傷に関して何かお困りのことがあれば是非一度外来までご相談ください。

毎月健康セミナーを開催しております。



毎月第4火曜日の午後2時から、当院の患者食堂におきまして健康セミナーを開催しております。専門の医師やパラメディカルが分かりやすく解説をいたしますので、どうぞお気軽にご参加ください。

今後のスケジュールは4月「放射線科」、5月「看護部」、6月「医局」と予定しております。また、セミナー内容の詳細に関しましては、事前に院内の掲示やホームページでご案内をいたしますので、ご確認ください。



会場はいつでも土田病院患者食堂です



特定健診・メタボ健診 各種健診受付中！

当院では、特定検診やメタボ検診、肺癌検診を専門医が直接おこなっております。また、各種検診についても専門医が責任を持って、随時おこなっております。ぜひ、ご相談ください。

専門外来

いずれも、保険適応となりますので、お気軽にご相談ください。

PEG・PTEG(胃ろう)外来
木曜日の午後

消化器(肝臓)専門外来
毎週水曜日の午前(9:00~12:00)

お見舞い申し上げます

お知らせ

この度の「東日本大震災」で被災をされた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。当院といたしましても今できることを考えながら、多くの職員ならびに病院から「義援金」が集まりました。

改めて被災地におかれましては一日も早く復旧が進展いたしますよう、心からお祈り申し上げます。